

暑い夏も終わり、比較的過ごし易い気候が続いていますね。秋はよく、「～の秋」という言葉で表現されますが、皆様にとってはどのような秋が想像されますか？この季節はおいしいものも多くなるので、けして食欲の秋とならないように注意して下さいね。

さて、今回の SAS の音では、当院睡眠検査の歴史をお話します。CPAP ユーザーの方は御存知のことかと思われませんが、改めて当院での睡眠検査の内容を取り上げてみたいと思います。

現在当院では、毎週木曜日と金曜日に Polysomnography 検査(以下 PSG 検査と記載)を行っています。

皆様、何らかの形で検査受けられたことがあるかと思いますが、当院の PSG 検査の特徴は、技師監視下での PSG 検査(attended PSG)です。但し、以前から attended PSG だったわけではありません。H18 年までの PSG 検査では、技師が一晩監視を行わない PSG 検査(unattended PSG)を行っていました。しかし、その当時の検査では、監視を行わないため、以下のような問題があり、PSG 検査を施行した 416 件の内、63 件(15%)で問題があり、2 名が後日“再検査”となりました。

- 電極やセンサーの装着不良・はずれに対応できない。(15件; 4%)
- 途中から脳波に筋電図などがノイズとして混入して判定ができないことがある。(12件; 3%)
- 時にCPAP圧コントローラーの作動不良がある。(9件; 2%)
- CPAP titration は機械任せであり、マスクリークが大きい場合や途中でマスクを外してしまった場合など適正圧が決定できないことがある。(27件; 6%)
- 就眠中の状態がビジュアルとして確認できず正確な睡眠状態の判断ができないことがある。

このような経緯から、当院でも attended PSG を行う体制となり、上記のような問題は起こらなくなりました。

導入した当初は大変な部分もありましたが、何とか軌道に乗り、現在も検査数は右肩上がりにより上昇しています。参考までに裏面に現在までの検査数の変化を表記いたしました。このように検査数が増えていく中で、今現状に満足するのではなく、よりよく皆様が検査を受けられるような体制・対策などを今後も検討していけるように努力していくつもりです。そのためにも、検査・治療に関しての皆様からの御意見が最も重要です。何かお気づきの点など御座いましたら、皆様からの御意見を御聞かせ下さい。

睡眠関連検査の推移 (2004年～2009年 8月)



CPAP ユーザーの声 (60 歳代男性)

私はずいぶん前から糖尿病を患い家族を心配させていました。血糖値も高く、わけがわからにほど自分をコントロール出来なくなり、家族を困らせていました。

妻はあの手この手で私の病を治そうと病院を回っていて、やっと井上病院の吉嶺先生に辿り着きました。

一つ一つ病気を把握しながら、今は CPAP のお世話になっております。

以前よりも体調も良くなり、自分の用が出来るようになり、妻も楽になったと喜んでいます。

同じ病を患っている方、絶対諦めないで、先生を信じ、自分を信じて少し頑張ってください。

いびきがひどいという事で、病名は睡眠時無呼吸症候群です。

最後は CPAP ユーザーの方への激励の言葉で締めくくっていただきました。大変心強い御意見だったと思います。現在 CPAP 使用で悩まれている方への励みになれば幸いですね。これからもこのような御意見を掲載していきますので、皆様からの温かい感想・御要望を御待ちしております。



SAS 診療室からのお願い

- ・CPAPユーザーの方は、**月一度の外來受診**が必要です。受診のない場合は、機器の返却・回収となる場合もありますので、御注意下さい。当院は**予約制**になります。**15日までに当月内の御予約がない場合は、受診願いの文書をお送りさせていただくこともありますので、御了承頂き、早めの御予約をお願いします。**
- ・吉嶺先生の外來診察は、患者様が集中し、待ち時間が長くなっているため、大変御迷惑お掛けしております。御時間のない方は、当院他の先生、もしくはお近くの病院での CPAP フォローも可能です。御相談下さい。
- ・診察日には**御使用中の CPAP 機器もしくはカード**を忘れず御持参下さい。
- ・当院ホームページ(<http://www.shunkaikai.jp/sleep/>)も是非御覧下さい。